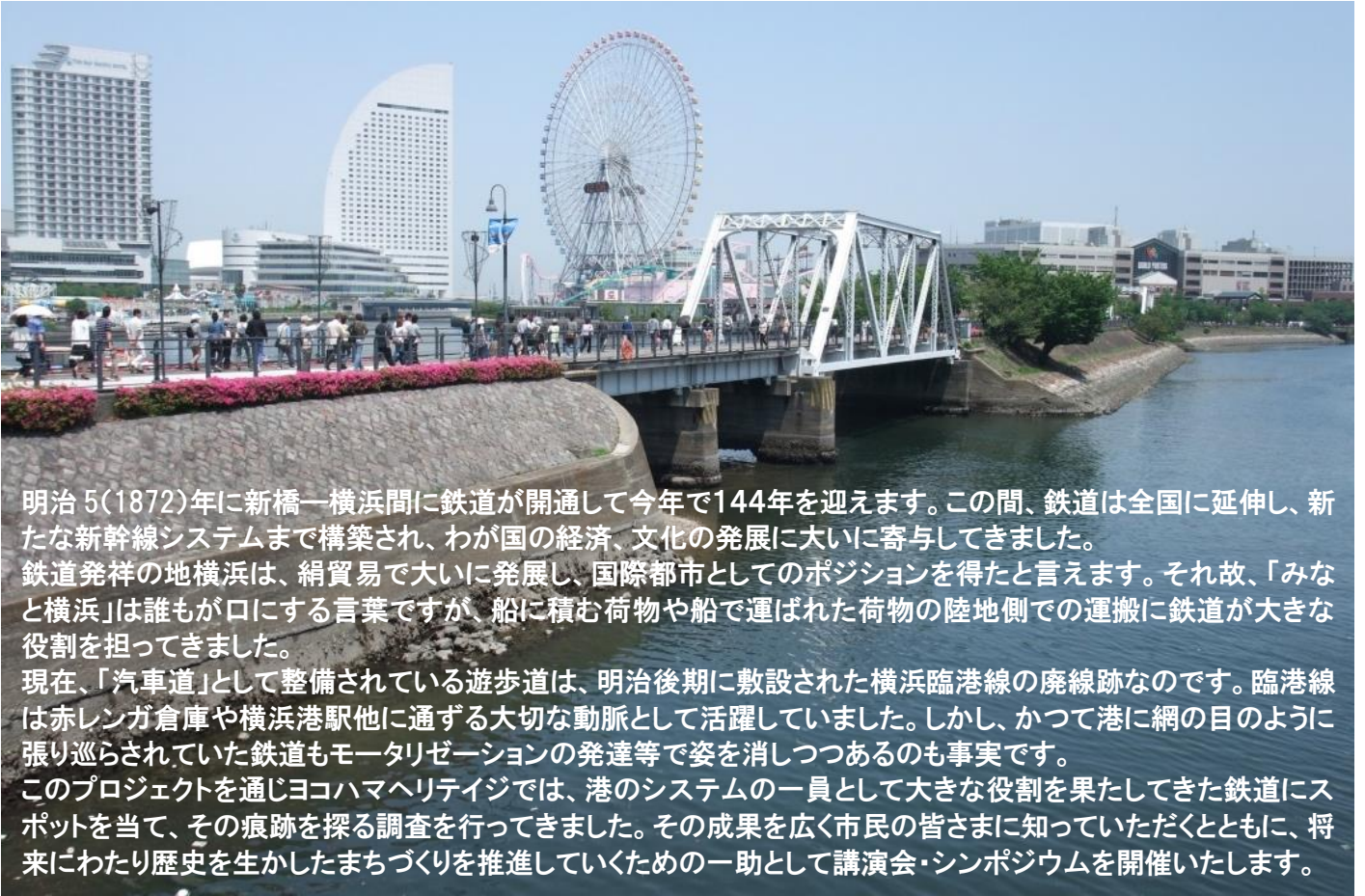


# 港 鉄道 ヨコハマ プロジェクト

—鉄道がつなぐ横浜の歴史と文化—



第1号橋梁(自動車道) 写真 米山淳一

明治5(1872)年に新橋—横浜間に鉄道が開通して今年で144年を迎えます。この間、鉄道は全国に延伸し、新たな新幹線システムまで構築され、わが国の経済、文化の発展に大いに寄与してきました。鉄道発祥の地横浜は、絹貿易で大いに発展し、国際都市としてのポジションを得たと言えます。それ故、「みなと横浜」は誰もが口にする言葉ですが、船に積む荷物や船で運ばれた荷物の陸地側での運搬に鉄道が大きな役割を担ってきました。現在、「自動車道」として整備されている遊歩道は、明治後期に敷設された横浜臨港線の廃線跡なのです。臨港線は赤レンガ倉庫や横浜港駅他に通ずる大切な動脈として活躍していました。しかし、かつて港に網の目のように張り巡らされていた鉄道もモータリゼーションの発達等で姿を消しつつあるのも事実です。このプロジェクトを通じヨコハマヘリテージでは、港のシステムの一員として大きな役割を果たしてきた鉄道にスポットを当て、その痕跡を探る調査を行ってきました。その成果を広く市民の皆さまに知っていただくとともに、将来にわたり歴史を生かしたまちづくりを推進していくための一助として講演会・シンポジウムを開催いたします。

【日時】 平成28年3月16日(水) 午後7時～9時(受付6時30分～)

【会場】 横浜市開港記念会館 講堂

【内容】 講演：小野田滋 氏(公益財団法人鉄道総合研究所フェロー)

パネリスト：花上嘉成 氏(公益財団法人東武博物館名誉館長)  
二階堂行宣氏(法政大学経営学部専任講師)  
青木祐介 氏(横浜都市発展記念館 主任調査研究員)  
齊藤大起 氏(神奈川新聞記者)

コメンテーター：小野田滋 氏

コーディネーター：米山淳一(公益社団法人横浜歴史資産調査会 常務理事)

【参加費】 一般 700 円 / ヘリテージ会員 500 円(資料代として鉄道遺産満載の特製ブックレットを差し上げます)

【申込方法・お問合せ】 Mail または FAX (住所・氏名・電話番号を明記)

公益社団法人横浜歴史資産調査会—ヨコハマヘリテージ—

TEL/FAX: 045-651-1730 Mail: yh-info@yokohama-heritage.or.jp

【申込締切】 3月15日(火) [当日受付あり]

【主催】 公益社団法人横浜歴史資産調査会

【後援】 横浜港大さん橋にぎわい創造委員会 / 横浜コミュニティデザイン・ラボ

【協力】 横浜市都市整備局都市デザイン室